

いじめ、自殺の多発

激しい競争教育こそ大問題

先生を増やし
30人学級を急いで

定岡敏行市議

日本共産党

明るい境港

2006.12.20

日本共産党境港市委員会発行
境港市湊町5-5 TEL44-0039



定岡敏行の
ホームページも
ごらんください

www.sadaoka.net

定岡敏行市議 こともの
いじめ、自殺が相次ぎ、「学
校が悪い」、「先生がなっ
ない」、「教育委員会は解
体しろ」と、学校現場バツ
シングが激しいが、幼いとき
から大学受験をゴールの徹
底した選別輪切り、受験第
一の教育。いじめや自殺多
発も、子どもたちを襲う目
標の喪失、自己否定の感情、
激しいストレス・・・この競
争教育こそが問題、根っこ
の問題ではないか。教育長
のお考えを聞きたい。

競争教育ではなく、ゆと
りのなかで子どもたちが主
体的に活動し、大きな目標
を達成し、充実感を味わう
場を用意してゆくこと。子
どもたちの思いを受けと
め、より良い方向に導いて
ゆくことが大切だと思つ

各種のまとめや報告、学級
通信の作成で6時、7時。
問題行動でもおきれば家庭
訪問で夜9時、10時が続
くという。持ち帰つての仕
事もある。
どんなに大変でも子ども
に向き合つて、気になる子
がいれば声かけてと思つ
し、精一杯やっているが、
だんだん気も萎えてくるの
だとおつしやる。その先生
たちの要望は、30人学級
を急いで欲しい。全学年に
という声だ。これに伝える
ことが大事ではないか。

教育長答弁

いま学校で
一番の課題だ

先進国最低レベル
の教育予算・・・と指摘

根平雄一郎教育長 いま
の子どもたちは、自尊心
の低下しストレスで攻撃性
が高まっている。自己決定
の機会が少なくなり、自立
の力が弱まっている。人間
関係の希薄さから人への信
頼感、安心感が薄れている。

多忙さはよく承知してい
る。会議や行事の見直し、
事務の共同化などで、いつ
そこの職場環境の改善に努
めたい。
定岡敏行市議 先日の教
育長の「先生たちはがんば
つている」という怒りのよ
うな答弁に共感を覚えた。
そのとおりだ。

持ち、熱情だけでできるも
のではない。先生を増やし、
全学年に30人学級を一日
も早く実現することだと思
うが、このテンポでいける
とお考えか。
根平雄一郎教育長 いま
学校の一番大きな課題だ。
根本は、先進国でもGD
P比最低レベルの教育予算
を国が増やすことで、教職
員を増やし、欧米並みの2
5人学級、せめて第一段階
として30人学級を実現し
て欲しい。要望を強めてい
きたい。

先生たちが
忙し過ぎる

指摘したいのは先生たち
のあまりもの忙しさだ。
授業が終わってから部活
の指導、明日の授業準備や



産科医など医師確保で国に緊急決議

来年4月から済生会総合病院で出産、分娩ができ
ない・・・市民の不安が広がっています。この問題で
境港市議会は12月19日、全会一致で国への緊急
要望を決議しました。

決議は「(この事態は)境港市民の暮らしと市の将
来像に、暗澹たる影を落とすもの」、「個々の地方自
治体の努力では、到底不可能」だとして、産科をは
じめ、地域において不足する診療科について、医師
確保のための緊急的な措置を講じること、都道府県
の地域医療対策協議会のとりくみが
円滑に進むよう支援を行うこと、都
道府県域を越えた医師偏在の調整や
医師派遣制度の確立を図ることなど
を要望しています。

今年一年、ありがとうございました
新しい年もよろしくおねがいします

先生たちがほんとうに忙
しい。ある女先生は、「家を
捨てなきゃできない」とお
つしやつていた。ゆっくり
子どもたちや保護者と語り
合う時間がないのだと。
教師といえども人間。気



2006年暮れ 日本共産党 境港市委員会

元衆議院議員 中林よし子
元衆議院議員 春名なほみ

市谷 尚三

とを
克服
再建
生活を
納結
滞生

行政も力入れて 多重債務のとりくみを

定岡敏行市議 多くの
人々を破産、家庭崩壊、自
殺にまで追い込んできたグ
レーゾーン金利が禁止され
ることになったが、法定利
息の上限も20%という高
金利で、ヤミ金被害が増え
かねない。

市でも多重債務問題の取
り組みを求めたい。

中村勝治市長 専門的知
識が必要で、役所では困難。
弁護士会や司法書士会、関
係各課と連携し、債務の整
理と生活の再建が早期かつ
効果的に実現できる体制づ
くりをはかりたい。

定岡敏行市議 奄美市で

は、生活相談にきた市民に
借金があれば、その場で債
務の状況をつかみ、弁護士
や司法書士と連絡をとって
債権者へ受任通知をおこな
う。取り立てが止むから毎
月の返済が浮く。そして生
活再建の方向を相談する。
税務課は、滞納者との相談
で「良かったら滞納の原因
を教えてください」と踏み
込む。借金があったら市民
生活係と連絡を取り、相談
解決に向かう。

滞納者が毎月払うように
なったり、過払いでお金を

取り戻し、何十万円もの滞
納を払ってくれたという。
奄美の公設法律事務所の
集計では、1年7ヶ月で返
還させた過払金は3億52
00万円。それが本人の暮
らし再建の資金になり、税
金にもまわり、地域に還流
されている。いまでも、何
百万、何千万円のお金が、
サラ金やヤミ金に流れてい
る。市としての取り組みを
発展させたいものだ。

生活保護 自立に必要な 車を認めよ

定岡敏行市議 暮らし
の困難が続くなか、生活
保護はいよいよ重大だ
が、国の保護切捨て、各
地で自殺まで相次ぎ、保
護のあり方が大問題とな
っている。

けている。これがまとも
な就労・自立支援か。
就労の可能性がある場
合、車の保有を認めてこ
そ自立支援ではないか。

国働きかけたい

体調も回復し、自立し
たいと就業活動をはじめ
たが、車がないと難しい。
ポンコツでも認めて欲し
いと相談したが、福祉に
ダメといわれた。

中村勝治市長 事業用
や障害者などの例外を除
いて国が原則として認め
ていない。社会経済情勢
に適応したものとなるよ
う、これからも働きかけ
ていきたい。

定岡敏行市議 厚生労

かけた職場から、「機械が
止まってからの修理が多
く、遅くなることもある。
車がないとね」と言われ
ていた。車がないと最初
から、就労、通勤の見通
しがたたないのに認めら
れない。ダメになってこ
の人は就労意欲も失いか

働省が2000年に、「深
夜勤務や早出などで公共
交通機関が利用困難な場
合」、通勤用の自動車保有
について認めた。被保護
者の立場で一步も二歩も
踏み込んでがんばって欲
しい。



12月議会は
「後期高齢者医
療制度」発足に関
する議案を、定
岡、松本両市議を
のぞく議員の賛
成多数で可決し
ました。
どんな制度
か・定岡市議の
反対討論を掲載
します。

定岡敏行市議

75歳以上の高齢者を対象にした医
療制度をスタートさせるものだが、一番
お医者にかかる機会も多い、負担能力
が一番弱い高齢者だけで、別立ての医
療保険制度をつくれれば、高齢者が増え
るに従って、保険料は上がる、医療費が
かさめば、またあがるという無間地獄に
なることは明らかだ。それがイヤなら診
療を控えよ、年寄りにいらん治療はす
るな、ということにもなりかねない。

厚生労働省の試算によれば平均保
険料は6200円で、介護保険料と合わ
せれば、毎月1万円がわずかな年金か
ら天引きされる。払えなければ、無情な
短期保険証、資格証の発行が待ち構え
るといって制度だ。

県内わずか15人ほどの広域議会で
運営するというのが、高齢者 住民の声は
とどくのか。こんな制度が始まることさ
え、多くの市民、高齢者は知らない。

これまでの医療は、現役世代と高齢
者が支えあつて運営してきた。その基本
を根本から打ち砕き、社会を支えてき
た高齢者に、「もつ面倒みれん」と、放り
出すようなものだ。

相次ぐ高齢者への負担増、そそくさ
と出発し市町村の担当者さえ、「めちゃ
くちなな制度だ」と言つて介護保険や障
害者自立支援法・・・これにつづく市民
公明の医療大改悪で、反対する。

高齢者を放りだす 後期高齢者医療の 制度発足に反対

くらし・環境・労働・法律・多重債務・・・なんでも
お気軽に
ご相談ください

定岡敏行

電話・FAX--- 45-6175
Email ----- info@sadaoka.net

